PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

63-005532

(43)Date of publication of application: 11.01.1988

(51)Int.CI.

H01L 21/302 H01L 21/205

(21)Application number: 61-148723

(71)Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO

LTD

(22)Date of filing:

25.06.1986

(72)Inventor: TANAKA YASUO

HOUCHIN RIYUUZOU

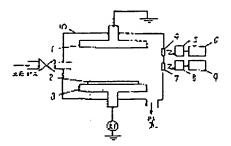
TANNO MASUO

(54) PLASMA CLEANING PROCESS

(57)Abstract:

PURPOSE: To shorten the cleaning time by means of making use of the fluctuation in light emitting spectrum intensity for detecting end point in case of gas plasma cleaning process.

CONSTITUTION: The cleaning end point can be detected by end point detectors 6, 9 in terms of the light emitting spectrum intensity of reactive product in case of plasma cleaning process or the material consumed by the reaction to be fluctuated at the cleaning end point. Furthermore, the cleaning end point can be detected by the same wavelength using CO light emitting spectrum in the same wavelength as that used for detecting etching end point of silicon oxide film making use of the deceasing intensity of CO light emitting spectrum in case of O2 gas plasma cleaning process.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

Date of requesting appeal against examiner's

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭63-5532

@Int_CI_4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和63年(1988) 1月11日

21/302 21/205 H 01 L 21/302 N-8223-5F 7739-5F

8223-5F

審査請求 未請求 発明の数 2 (全4頁)

69発明の名称

プラズマクリーニング方法

②特 昭61-148723

願 昭61(1986)6月25日 经出

四発 明 者 \blacksquare 中 婧 夫

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

明 者 73発 砂発 眀 者 宝 珍 丹 野 隆 \equiv 益 男

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

松下電器產業株式会社 願 の出 人

大阪府門真市大字門真1006番地

敏 男 砂代 理 人 弁理士 中尾

外1名

細

1、発明の名称

ブラメマクリーニング方法

2、特許請求の範囲

- (1) フロン系ガスを使用するドライエッチングに かいて、真空チャンパー内の堆積物を除去するブ ラズマクリーニングの終点検出を、発光スペクト ル強度変化をモニターすることによって行なりこ とを特徴とするブラズマクリーニング方法。
- ② プラズマクリーニングがO2 ガスプラズマク リーニングである特許請求の範囲第1項記載のプ ラズマクリーニング方法。
- (3) 発光スペクトルが口原子発光スペクトルであ る特許請求の範囲第1項は第2項記載のプラズマ クリーニング方法。
- (4) 発光スペクトルがCO発光スペクトルである 特許請求の範囲第1項または第2項記載のプラズ マクリーニング方法。
- (6) フロン系ガスを使用するドライエッチングに **おいて、シリコン酸化膜のドライエッチング終点**

検出をCO発光スペクトル強度変化をモニターす るととによって行なりと共に真空チャンパー内の ↓ 堆積物を除去するO₂ ガスプラズマクリーニング の終点検出を、上記シリコン酸化膜のドライエッ チング終点検出と同一のCO発光スペクトル強度 変化をモニターすることによって行なりことを特 **敬とするプラメマスクリーニング方法。**

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、半導体装置等の電子部品製造に使用 されるドライエッチングにおいて、真空チャンパ -内の堆積物をガスプラズマを用いて除去する際 に終点検出を行なりプラズマクリーニング方法に 関するものである。

従来の技術

従来のドライエッチング装置では、真空チャン パー内の堆積物の除去やダスト減少を図るために、 O₂ ガスプラメマクリーニングが行なわれている が、そのクリーニングの終了時点(終点)は任意 の時間設定で行なっている。